

Nipron Wave

Vol.83 2026-Spring

ここが見どころ!

① グリーンパワー製品特集

大規模停電時のPV Oasis活用事例
壁面設置に最適な国産セル採用軽量太陽電池をご紹介します

② [新製品]SFXL-700P-S

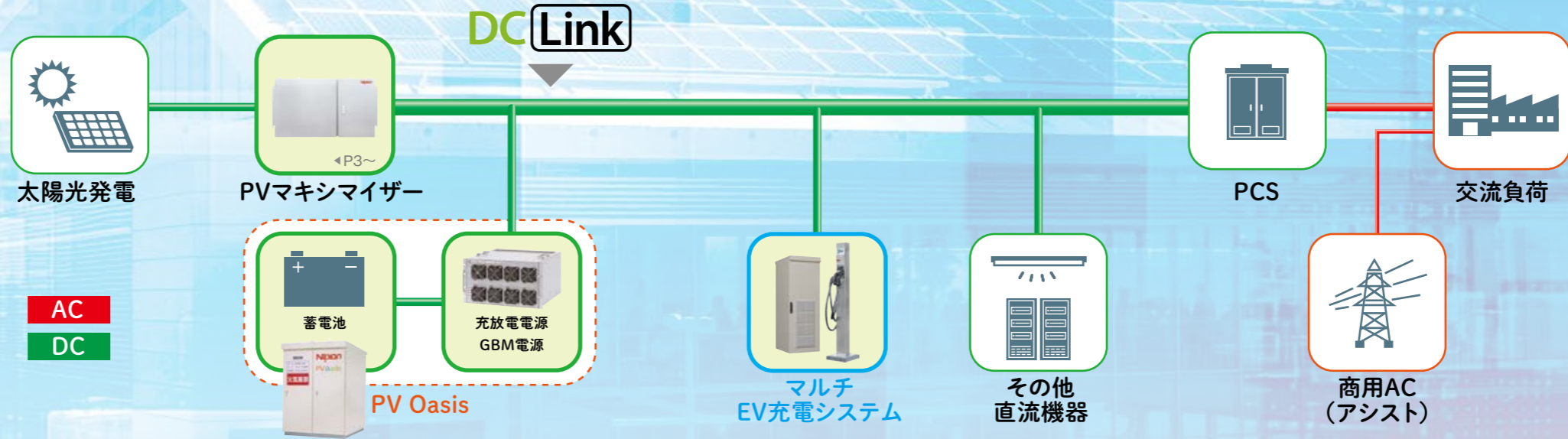
高性能GPU対応、大容量SFX電源をご紹介します

DC Link 直流制御技術で、太陽光発電をダイレクトに活用

直流制御のメリット

太陽光発電や蓄電池は直流(DC)で動作します。これらを直流のまま接続する「DC Link」により、従来のACシステムに比べて電力変換回数を削減し、変換損失の低減とエネルギー利用効率の向上を実現します。

さらに、システム構成の簡素化により信頼性と保守性を高め、高信頼な電源システムを構築できます。



多彩な直流製品で最適解をご提案

PV Oasis

太陽光発電・自家消費システム



太陽光発電の余剰電力を蓄電池に充電し、必要な際に放電し活用するキュービクル型太陽光発電・自家消費システムです。必要な機器はキュービクル内に内蔵・配線されており、現地での電気工事を最小限に抑えます。

キュービクルタイプで設置簡単

国内設計・国内製造

PV Oasisは設計から部品調達、製造、さらにキュービクルへの組込みに至るまで、すべての工程を国内自社工場で一貫して行うことで、安定した供給体制と厳格な品質管理を徹底しています。

現地工事を最小限に

必要な機器をキュービクル内に搭載しているため、現地工事は最小限に抑えます。設計・施工の手間を削減し、スピーディーかつ低コストな導入が可能です。工場での一貫生産により、品質のばらつきを抑えた安定した性能を実現し、現場施工に依存しない、高い信頼性を提供します。

系統非連系運用可能

一般的に普及している系統連系を行う自家消費システムに加えて、非連系での自家消費システムの構築が可能です。

大規模な
電気工事不要

工事費用
抑制

小規模から
始められる

発電電力を最大限に活用できる「DC Link」システム

<http://www.nipron.co.jp>

ハイブリッド(AC・DC)入力対応

省スペース型 マルチEV充電システム

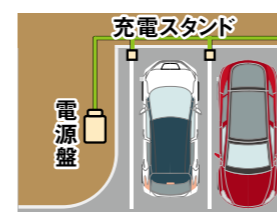


AC・DC両入力対応の省スペース型 マルチEV充電システムです。太陽光発電などの直流電力をそのまま活用でき、高効率なシステム運用が可能です。また、電源部とスタンド部が分離しており狭い設置スペースにも複数台の充電器が設置可能です。

限られた駐車スペースを有効活用

省スペース設計

EV充電器電源盤と充電スタンドが分離しているため、一般的な駐車区画内に設置可能です。

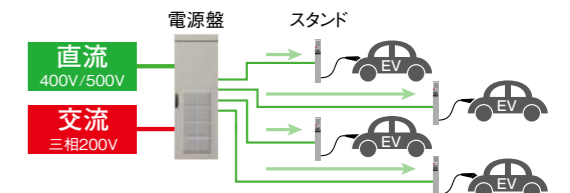


電源盤を離れた場所に設置でき、自由度の高いレイアウトが可能

省スペース設計で、駐車区画内への設置が可能

20kW複数台同時連続充電対応

1台のEV充電器電源盤に複数の充電スタンドを接続できるため、複数の電気自動車(EV)を同時に接続・充電することが可能です。また、充電制御により電力コントロールを行うことで、受電容量に制約がある環境でも多台数のEV充電運用が実現できます。



電力変換ロスを削減する直流制御技術

<http://www.nipron.co.jp>

発電効率を最大化 PVマキシマイザー



PVマキシマイザーを活用した太陽電池モジュールの壁面設置

一括制御するパワーコンディショナ (PCS) では、ストリングの個別制御ができません。そのため、建物の壁面に太陽電池モジュールを設置した場合、方位や時間帯によって日射条件が大きく変化するため、設置場所によって特性のバラツキが生じ、発電効率が低下します。こうした理由から、壁面への設置は見送られることが一般的でした。しかし、PVマキシマイザーはストリング単位で電力を制御することで、壁面モジュールと屋根上モジュールといった特性のバラツキが発生する場合でも、それぞれの発電能力を最大限に引き出すことが可能です。

朝 朝は日射角が小さく、東向きの壁面モジュールは比較的受光条件が良くなります。一方で、屋根上や西向きのモジュールは受光条件が不利になる傾向があります。PCSによる一括制御では、複数ストリングの個別制御ができないため、条件の良いモジュール(ストリング)であっても、その性能を十分に引き出せない可能性があります。

パワーコンディショナ 一括制御

一括制御のため動作電圧が最大電力点からずれる

PVマキシマイザー 個別制御

個別制御のためストリング毎に最大電力を取り出すことができる

※イメージ

昼 昼は日射角が大きく、屋根上のモジュールは受光条件が良くなります。一方で、東向きや西向きのモジュールは受光条件が不利になる傾向があります。PCSによる一括制御では、方位ごとの発電特性の違いにより、一部のモジュール(ストリング)の発電能力を十分に引き出せない可能性だけでなく、他のモジュール(ストリング)の発電にも影響が及ぶ場合があります。

一括制御パワコン

他のモジュール発電にも影響が及ぶ場合がある

PVマキシマイザー

※イメージ

夕 夕方は西向きモジュールの受光条件が良くなります。PCSによる一括制御では、複数ストリングの個別制御ができないため、モジュール(ストリング)ごとの発電能力を十分に活かすことができません。

一括制御パワコン

PVマキシマイザー

※イメージ

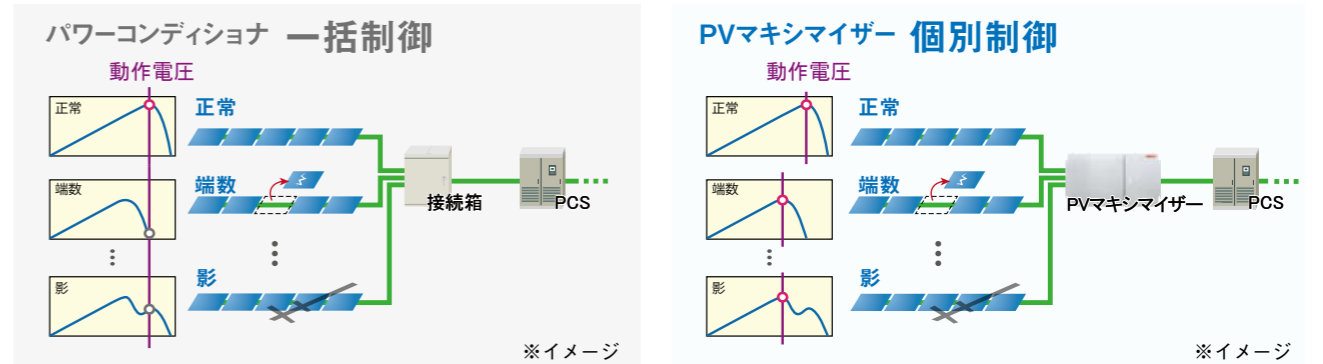
太陽光モジュールの発電効率を最大化

<http://www.nipron.co.jp>

発電効率を最大化

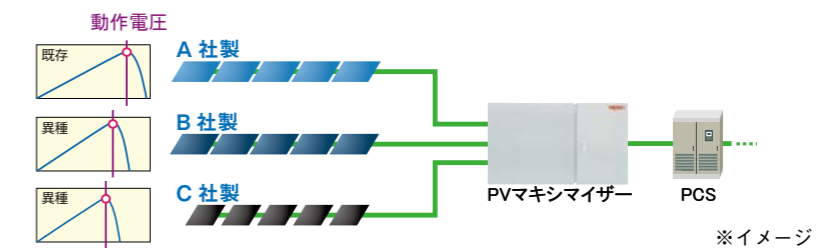
太陽電池モジュールに異常が発生すると、発電特性にも変化が生じ、そのまましていると発電量が低下してしまいます。異常の発生したモジュールを都度交換する場合、頻繁に工事が発生して多くの費用がかかります。また、異常モジュールを取り外す手段も考えられますが、他のストリングと電圧差が生じるため十分な電力が取り出せません。PVマキシマイザーは、ストリング単位で電力を制御することにより、モジュールに異常が発生した場合でも不足する電圧を補うことが可能で、端数状態での運転継続も可能です。

効率最大化イメージ



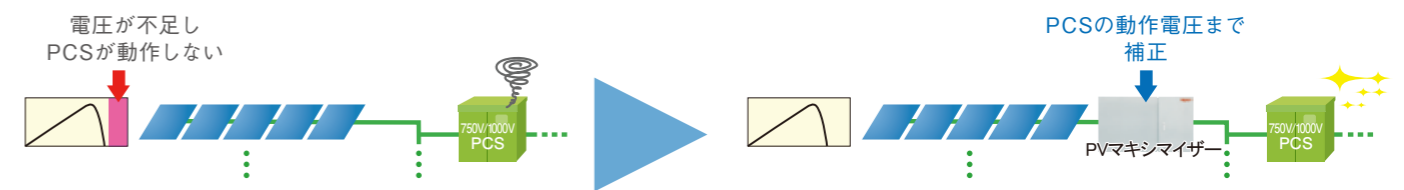
メーカー違い等、異種混合に対応

ストリング毎に電圧差があっても、PVマキシマイザーを導入することで、ストリング毎の電圧を一定電圧に昇圧します。その為、メーカー違いなどの異種モジュールについても接続可能です。また、運転開始から10年が経過し、太陽電池モジュールの更新をご検討される際にも、古いモジュールと新しいモジュールの混在も可能になります。



パワーコンディショナの電圧マッチング

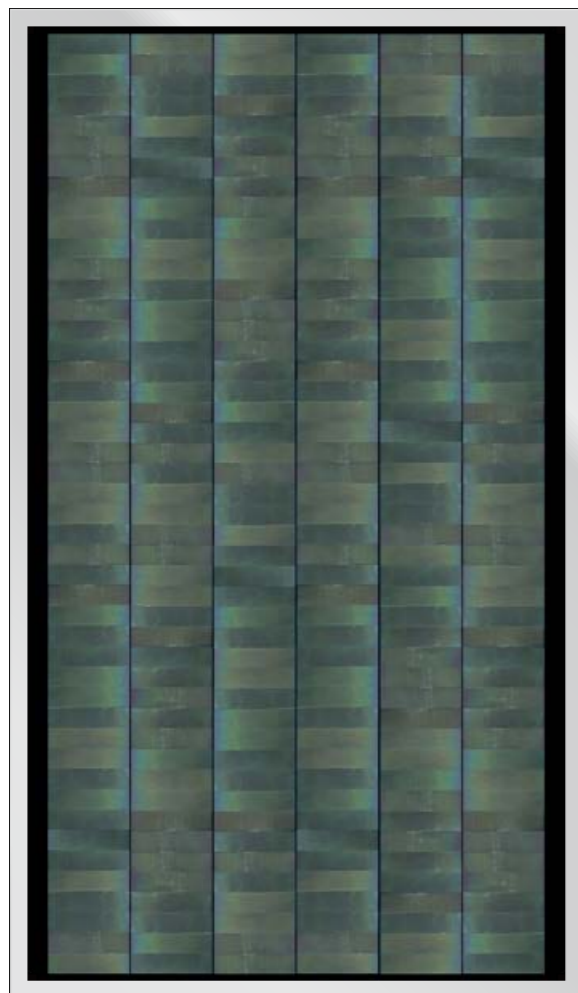
PVマキシマイザーは電圧を一定電圧に昇圧する機能が備わっています。近年、様々な種類の太陽電池モジュールが開発されているなか、出力電圧が低く、既設のパワーコンディショナでは電圧が合わないなど課題があります。PVマキシマイザーを導入頂くことで、パワーコンディショナの入力電圧範囲まで昇圧することが可能です。また、少ないモジュールを設置頂く場合でも有効です。



既設発電所のリパリングにも最適です

<http://www.nipron.co.jp>

壁面設置に最適な薄型軽量 国産カルコパイライト太陽電池



国産
セル以外の部材においても
可能な限り国内メーカー製を採用し
信頼性を担保

軽量
重さ約 **7** kg(参考値)

モジュール仕様(参考値)
出力: 322W
電流: 2.1A
電圧: 193.2V

※掲載製品は開発中のため記載している仕様、外観などは予告なしに変更することがあります。

カルコパイライト太陽電池モジュール 特長

- 20年以上の実績*があり、耐久性・発電量の信頼性がある ※CIS系太陽電池として
- 温度特性に優れ、夏場や高温環境下でも安定した発電性能を維持
- 薄膜技術により軽量化を実現し、さまざまな設置環境に対応

壁面設置にはPVマキシマイザーが最適



壁面設置時の発電ロスを最小化

既存太陽電池との、異種混合に対応

▶P.3~

高品質・高信頼の国産セル採用軽量太陽電池

<http://www.nipron.co.jp>

新工法により壁面発電の導入を促進

特許出願中

特願 2026-041830

近年、電力コストの上昇やBCP対策の観点から、太陽光発電の自家消費ニーズが高まっています。しかし、屋根上スペースのみでは十分な発電量を確保できないケースも多く、建物の壁面活用への関心が高まっています。一方で、従来の壁面設置は施工性やコスト、壁面の強度の面で課題があり、導入のハードルとなっていました。

当社は、拡大する太陽光発電の壁面設置ニーズに応えるため、グラスファイバーワイヤーで太陽電池モジュールを吊り下げる新工法を開発しました。

新工法「ワイヤー懸架方式」は、昇降機構の活用により足場設置や高所作業を大幅に削減でき、工事費の低減に大きく貢献します。

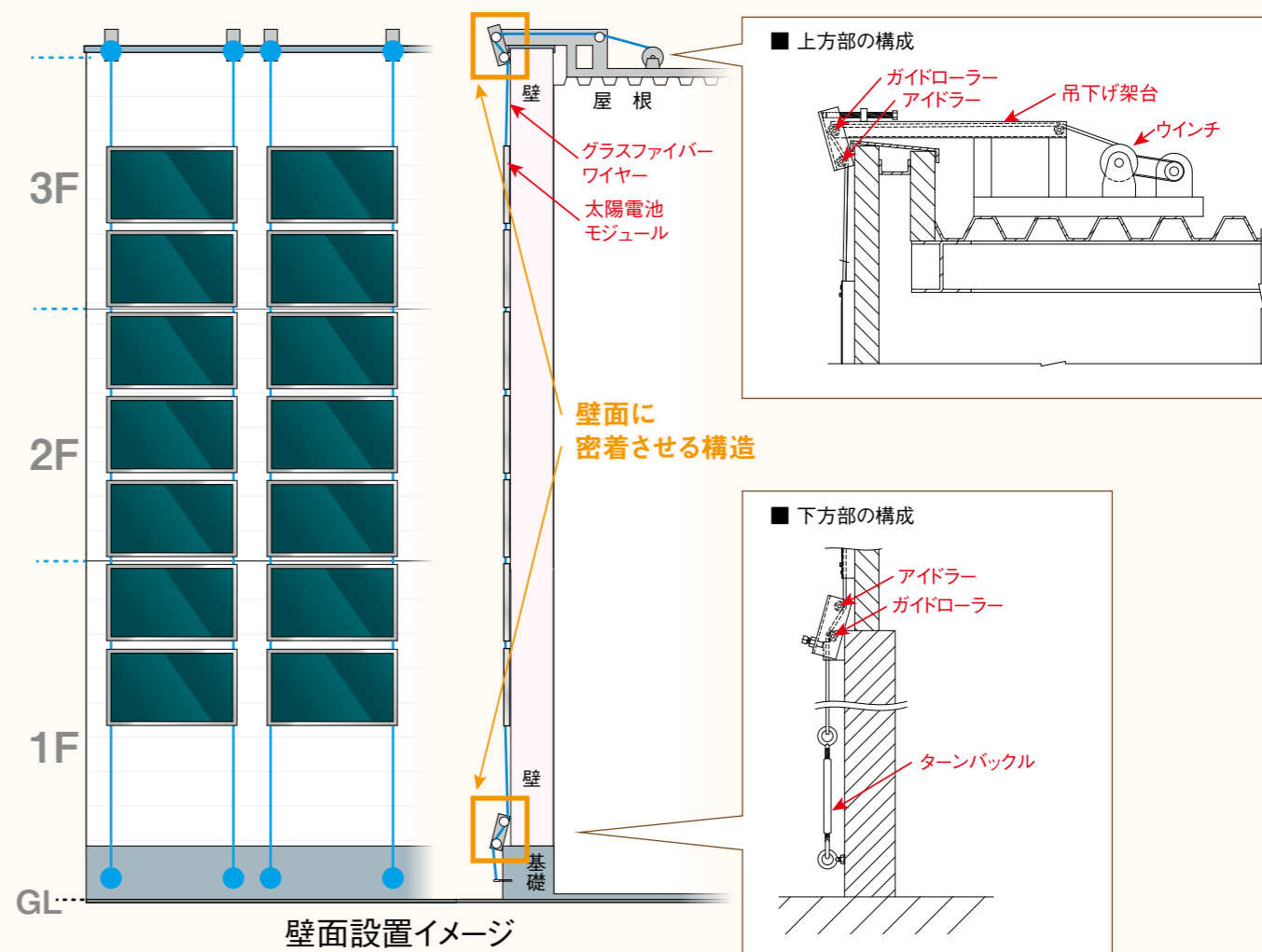
さらに、保守・メンテナンス時も同様に作業負担を軽減できるため、ライフサイクルコストの削減にも寄与します。

また、建物への負担を抑えた設計により、既存建物への後付にも柔軟に対応、発電量を拡張し自家消費率の向上に大きく貢献します。

特長

1. 簡易施工で屋根上に加え壁面も活用、発電量を拡張して自家消費率向上が可能
2. ワイヤー懸架方式で壁面に固定不要なため施工コスト、保守コストを削減
3. 地上メンテナンスが可能
4. 極めて厳しい風条件が予想される際はパネルを退避可能

【ワイヤー懸架方式】構造・機構



建物の屋根・壁面など様々な設置環境に対応

<http://www.nipron.co.jp>

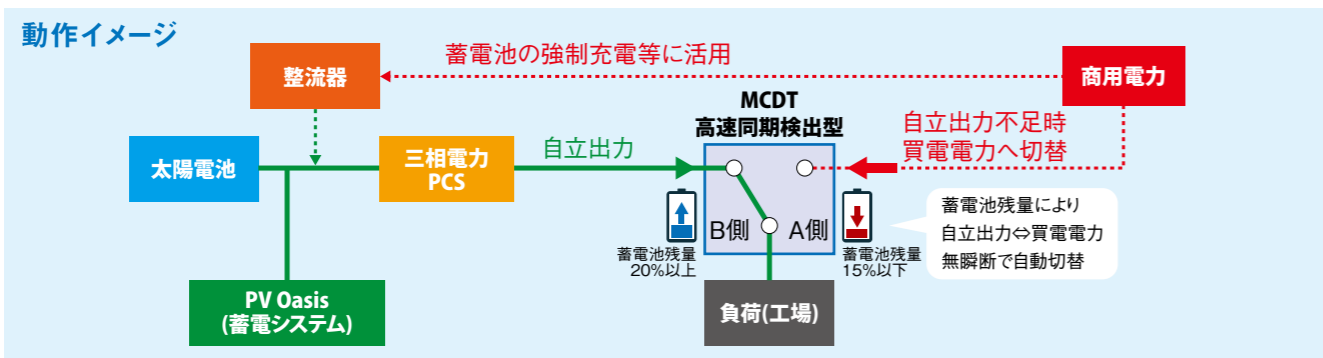
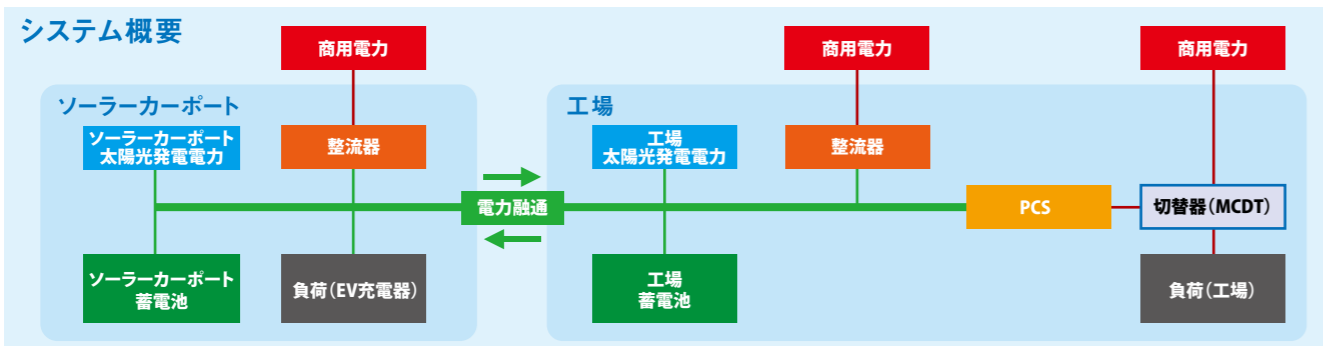
PV Oasis 活用事例

三重スマート夢工場



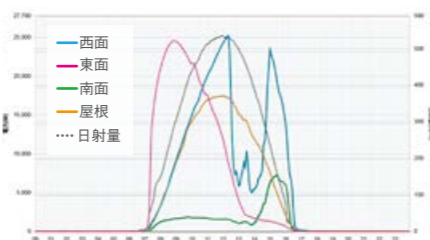
PV Oasisで高い再エネ電力自給率を実現

三重スマート夢工場では太陽光発電と蓄電池を組み合わせ、日中に発電した電気は工場内設備とEV充電で自家消費し、そこで使い切れなかった余剰電力を蓄電池に充電し、夜間など発電ができない時間に放電することで、再エネ電力自給率を高めています。



2025年に再エネ自給率向上のため、壁面に太陽光パネルを増設

冬季の日射量低下による発電量不足を解消するため、建屋の壁面(東面・南面・西面)に太陽光パネルを増設しました。悪条件下でも発電量を最大化する「PVマキシマイザー」を活用することで、季節を問わず安定した電力供給を実現。再生可能エネルギーの自給率向上を高いレベルで実現しています。



太陽光発電&蓄電池で再エネ電力自給率を高めます

<http://www.nipron.co.jp>

PV Oasis 運用事例

三重県南東部での大規模停電について

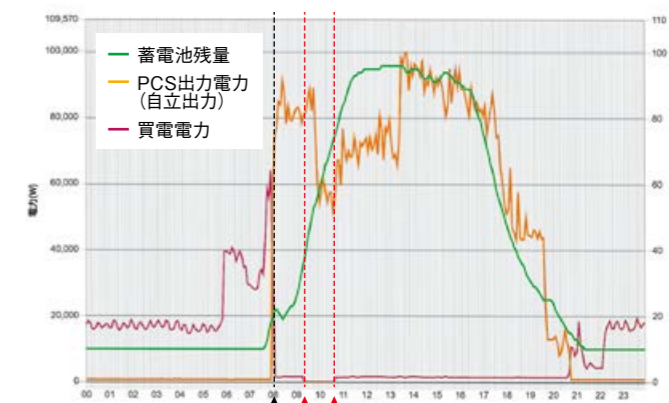
2026年3月4日午前9時、三重県南東部(伊勢市、松阪市、など)で大規模な停電が発生し、最大で約19万戸に影響が出ました。原因は送配電設備のある変電所での不具合とみられており、交通機関の運休や観光施設の営業見合わせなど広範囲に影響が広がりました。停電の復旧には最大同日昼頃までを要しました。三重スマート夢工場のある多気町でも同時刻頃より停電が発生し、約2時間にわたり電力供給が停止しました。しかし、工場は停電発生時もフル稼働状態にありながら、PV Oasisによる自立運転を行っていたため、一切の影響を受けることなく安定稼働を継続することができました。

工場のPV Oasisによる自家消費は2024年から実施しており、2025年に壁面へのパネル増設も実施しています。これにより東面に増設したパネルが朝方から発電を開始しており、今回の停電時においても始業前に自立運転へ移行していたため、工場の安定稼働に大きく貢献しました。

【発電状況】



【システム稼働状況】



三重スマート夢工場 責任者インタビュー

停電は、どのようなきっかけで把握されましたか。また、その際、工場内ではどのような業務が行われていましたか。

停電が発生した時、朝の始業チェックを終え、工場は100%稼働状態にありました。停電に初めに気づいたのは、PVガードマンから送られてくる、整流器の停止アラートで気づくことになりました。

【PVガードマンアラート画面】

日時	種別	状態
2026/03/04 10:45	整流器	正常復帰
2026/03/04 09:15	整流器	整流器(1):整流器通信異常、整流器(2):整流器通信異常、整流器(3):整流器通信異常、整流器(4):整流器通信異常

異常通知

停電発生時、工場内の設備や照明などに変化はありましたか。

設備が異常停止することや、照明がちらつくことは起こっていません。系統から切り離し運用しており、工場内の給電に全く影響は出ませんでした。

停電中も生産や業務は通常通り継続できましたか。

業務は継続できました。設備停止も発生しておらず、一般的に起こる停電後の復旧作業も不要でした。

停電に気付いた後、工場としてどのような対応を行いましたか。

直ぐにPV OasisのSOC残量と現在の発電電力、工場の消費電力を確認しました。晴と曇りが交互に変わる天気であったので、蓄電池に極力電気を貯めるため、不要な電灯やエアコン温度の調整を行っていました。幸いに2時間程度で復旧しましたのでその間停止は発生していません。

今回の停電による工場への影響はどの程度だったと評価されていますか。

停電の影響は全くなかったと考えています。

もし停電時のバックアップがなかった場合、工場の設備や業務にはどのような影響があったと想定されますか。

工場では、はんだ槽やリフロー炉など熱源を使用したはんだ付けが行われています。これらが途中で止まってしまうと炉に入っている製品は全て不良となってしまいます。また、一度ラインが止まってしまうと復旧に向けて現状確認が必要となってきます。品質を確保するためにどこまで生産しているのかをしっかりと確認し再度投入が必要となってきます。

停電がどこまで続くのか、発生した時間帯によっても従業員を待機させるのか、帰宅させるのかなど様々な判断が必要となり、こうした影響を未然に回避できたことは、大きな成果であったと考えています。

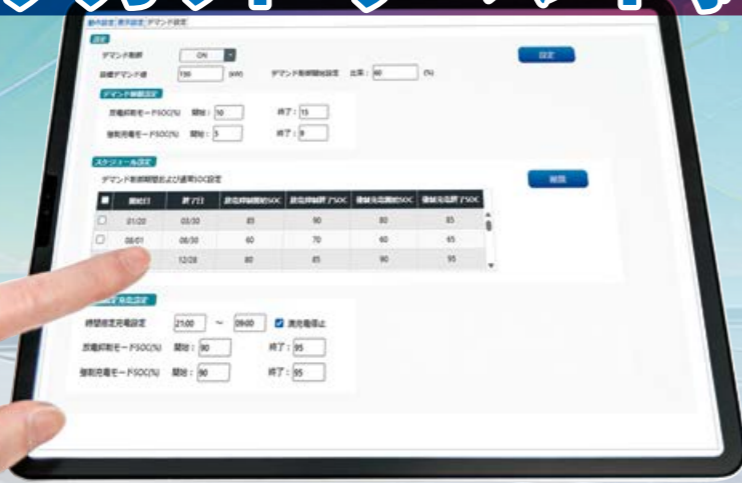


製造本部
三重スマート夢工場製造部
藪 雄太

BCP対応も可能な「PV Oasis」

<http://www.nipron.co.jp>

ピークカット デマンド抑制

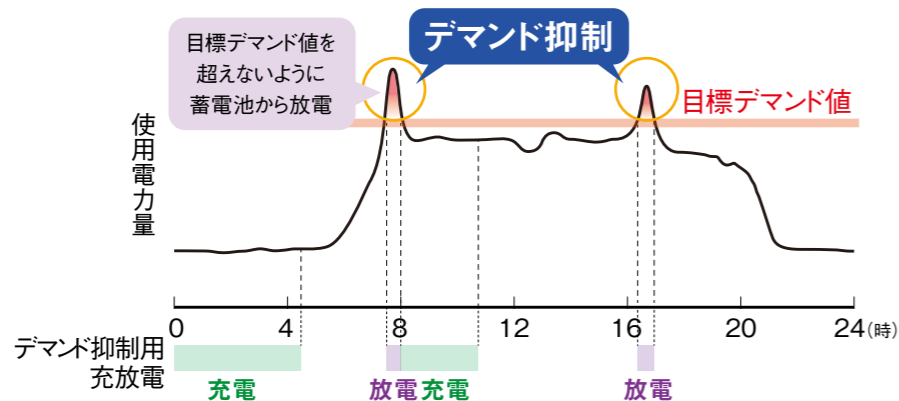


最大デマンドを抑制し電気料金の削減に貢献

太陽光発電の余剰電力や深夜電力を蓄電池に充電し、電力ピークが発生した場合は最大デマンドを抑制することで、基本料金を低減します。

■ デマンド抑制動作イメージ

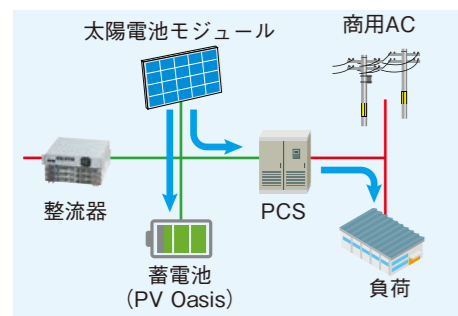
30分毎の使用電力量を観測し、予め設定した電力量（デマンド制御開始値）を超えた時点で蓄電池から自動で放電を行うことで買電電力を減らし、平均電力値（デマンド値）を抑制します。デマンド”予測”ではなく、”観測”による抑制のため、蓄電池容量がある限り、確実にデマンド抑制が可能です。



■ システム動作イメージ

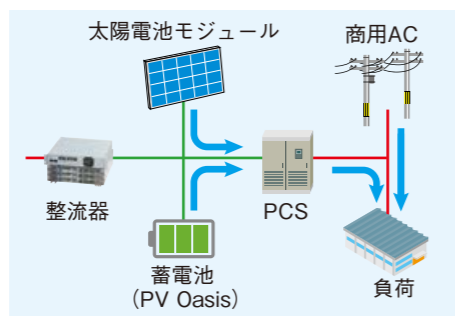
オフピーク時(通常時)

オフピーク時は太陽光発電の電力を自家消費し、余剰電力を蓄電池に充電します。



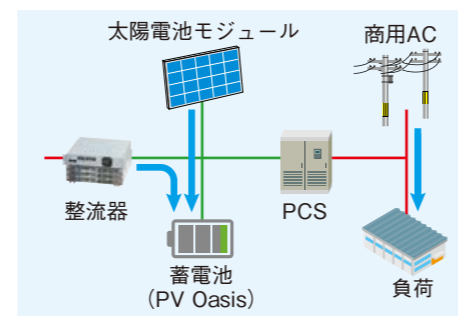
デマンドピーク時

ピーク時には、太陽光発電の電力を自家消費すると同時に、蓄電池からも電力を供給しデマンドピークを制御します。



オフピーク時(強制充電時)

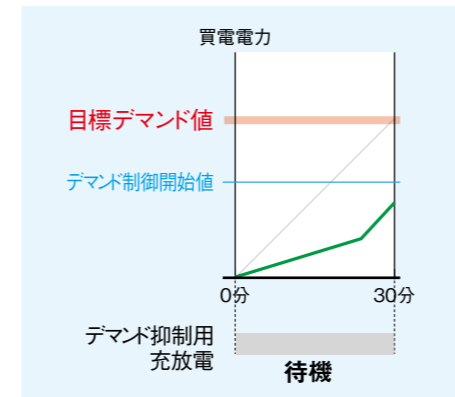
オフピーク時、太陽光発電だけで充電電力が不足する場合は、整流器からの強制充電も可能です。



■ 電力推移イメージ

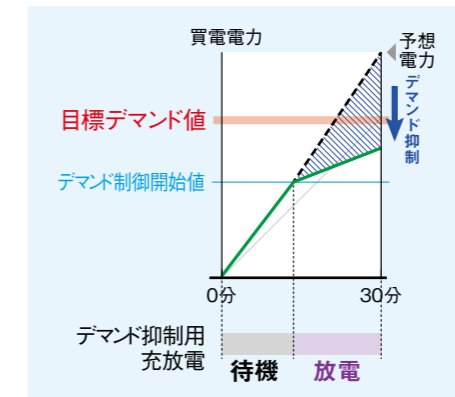
オフピーク時

蓄電池のSOCが十分にあり、消費電力がデマンド制御開始値を下回る場合は待機します。



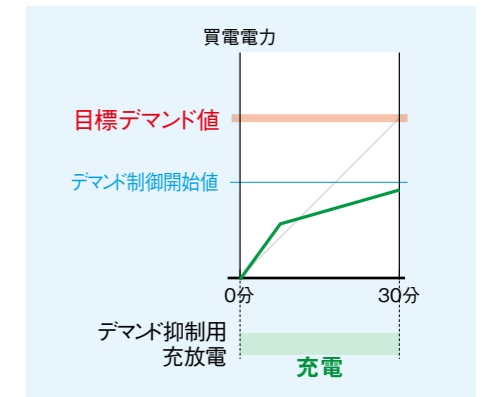
デマンドピーク時

消費電力がデマンド制御開始値を上回ると蓄電池から放電を行いデマンドを抑制します。



オフピーク時(強制充電時)

デマンド制御開始値を下回り電力に余裕がある場合は次のデマンドに備え蓄電池を充電します。



自由度の高いスケジュール運転が可能

■ 機能紹介

- 放電制御開始タイミングや、強制充電タイミングを、1%単位で細かく設定可能
- 任意の目標デマンド値を1kW単位で設定可能
- 設定した日時や時間帯に合わせて、デマンド制御を自動的に動作させるスケジュール機能搭載
- 強制充電時間の設定が可能

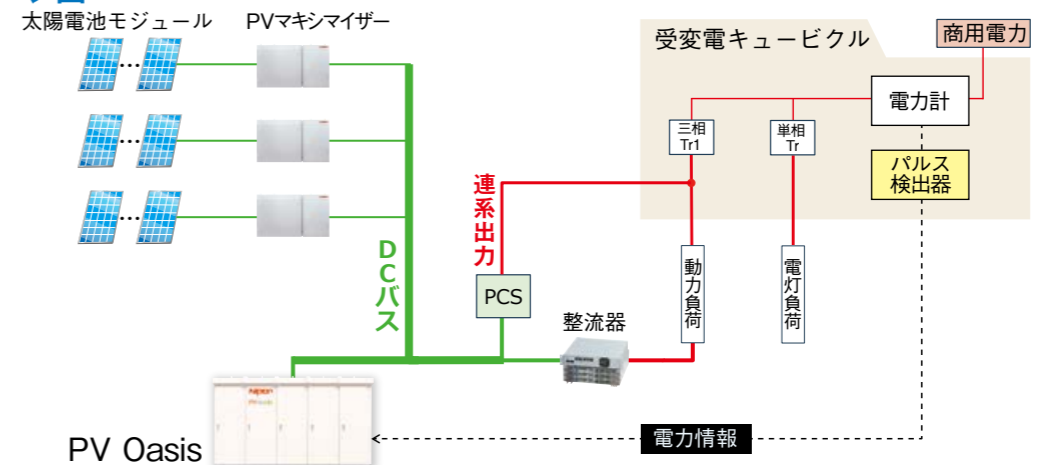
■ デマンド制御設定画面イメージ



その他特長

- 災害の発生が予測される場合はBCP対策としても活用可能
- 時間指定充電機能により深夜電力の活用も可能

■ 接続イメージ図



※デマンド抑制機能のご利用には、別途三菱電機株式会社製のパルス検出器「PC-11B」が必要となります。また、電力会社にパルス利用の申込みが必要となります。

昨今、高騰し続ける電気料金の削減に貢献します

<http://www.nipron.co.jp>

放電・充電タイミングなどを細かく設定可能

<http://www.nipron.co.jp>

SFX SIZE 700W

SFXL-700P-S

連続 575W / ピーク 700W

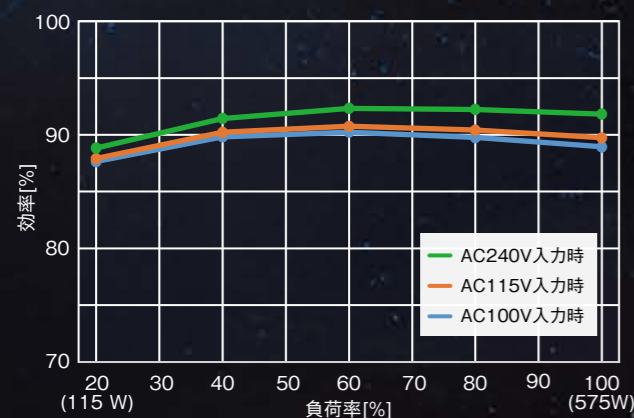
サイズ:W125 × H63.5 × D125 mm



2026年 発売予定

高効率を実現する設計

高負荷環境においても安定した電源供給を維持し、効率的なシステム運用を支えます。



出力仕様

連続最大容量を超える700Wのピーク出力が可能です。

出力電圧	+3.3V	+5V	+12V	-12V	+5VSB
連続最大電流/電力	12A 39.6W	16A 80W	47.5A 570W	0.2A 2.4W	3A 15W
	合計 83W		合計 570W		
	合計 575W				
ピーク電流/電力 (5秒以内)	16A 52.8W	16A 80W	57A 684W	0.2A 2.4W	3.5A 17.5W
	合計 83W		合計 685W		
	合計 700W				

12V-2×6ケーブル対応 大容量の新型SFX電源

<http://www.nipron.co.jp>

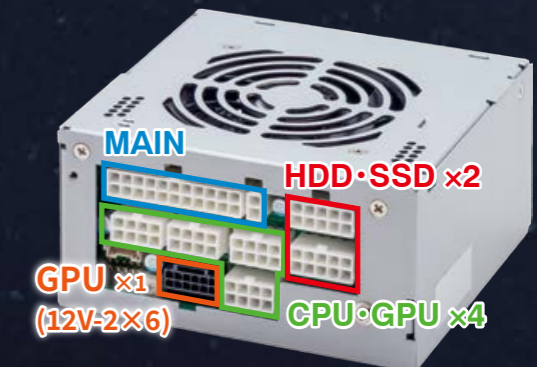
従来品比で静音性を向上

大型ファンの採用により、低回転でも高い冷却性能を確保。動作音を抑えながら安定動作を実現します。



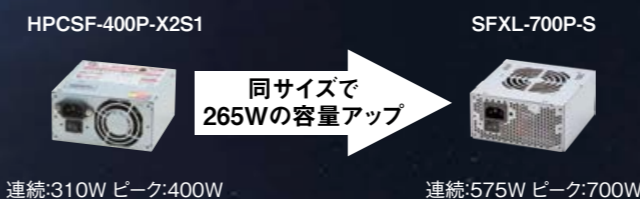
フルプラグイン仕様

必要なケーブルのみを接続できるフルプラグイン設計。配線の最適化により、装置内のエアフローを妨げず、組み立て性とメンテナンス性の向上に貢献します。



従来品比で約2倍の電力密度を実現

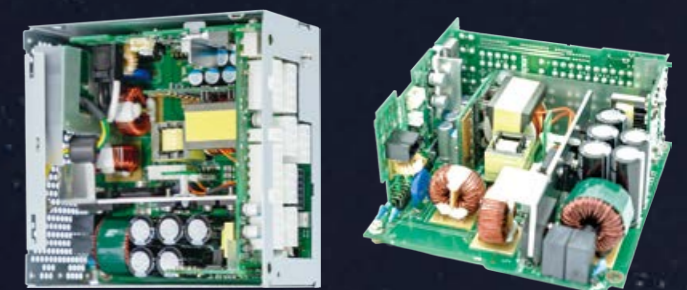
SFXL-700PはHPCSF-400Pと比較し、約1.85倍の電力密度を実現。組み込み機器の小型化に貢献します。



高品質・高信頼のものづくり

独自の熱解析シミュレーションにより最適な部品配置を実現し、24時間365日の長期運用に耐える高い信頼性を確保。

国内設計・国内製造にこだわり、PC用電源は阪神夢工場にて一貫して生産しています。



12V-2×6ケーブル発売予定



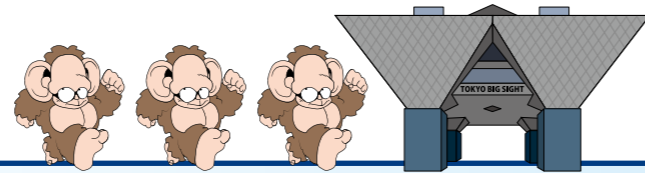
※12V-2×6ケーブルは対応した電源でご使用ください。

※掲載製品は開発中のため記載している仕様、外觀などは予告なしに変更することがあります。

国産にこだわり、高品質・高信頼性を実現

<http://www.nipron.co.jp>

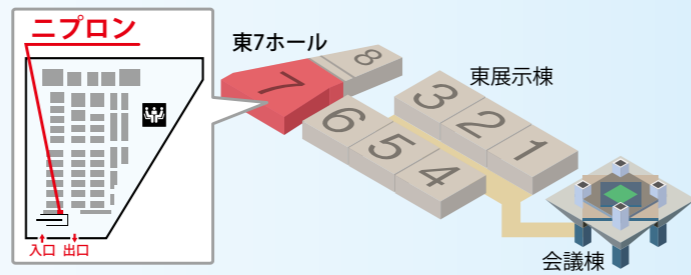
展示会出展のご案内



ジャンボびっくり見本市に出展します。



会期: 2026年4月17日(金)~4月18日(土)
会場: 東京ビッグサイト 東7ホール ブース番号: 061

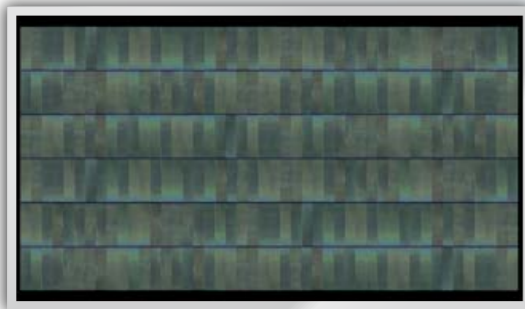


2026年4月17日、18日の2日間、東京ビッグサイトにて開催される「第52回ジャンボびっくり見本市」へニプロンは出展します。本展示会は、総合見本市として専門メーカー約200社が集結する専門展です。

ニプロンブースではEV充電システムをはじめ、太陽光発電および電源関連製品を中心とした各種ソリューションを展示します。本展示では、新工法による壁面設置用の軽量PVモジュールをはじめ、省スペースでの設置を実現した「マルチEV充電システム」、太陽光発電の効率向上に寄与する「PVマキシマイザー」をご紹介します。また、産業用スイッチング電源についても、パソコン用電源や単出力電源など各種ラインアップを展示し、停電対策に有効なバックアップ電源のデモンストレーションも実施予定です。ぜひニプロンのブースにお立ち寄りください。

本展示会の見どころ

壁面設置用・軽量 国産カルコパイライト太陽電池 PVマキシマイザー マルチEV充電システム



産業用スイッチング電源(パソコン用電源、単出力電源)



多種多様の電源を取り揃えています! まずはご連絡を!

<http://www.nipron.co.jp>

蘇州富士フィルム映像機器有限公司様より サプライヤー表彰を受賞

品質への取り組みが評価されました。

このたび当社は、長年お取引いただいている蘇州富士フィルム映像機器有限公司様より、品質面での取り組みが評価され、サプライヤー表彰を受賞しました。今回の表彰は、同社の創立30周年記念式典の中で行われたものです。式典には、当社副社長 松原、東部営業部 五島が出席しました。

当社は長期取引先として式典にご招待いただき、式への参加に加え、工場訪問も実施しました。現地では関係者の皆様との交流を通じて当社の取り組みをご紹介するとともに、相互理解を一層深める機会となりました。

蘇州富士フィルム映像機器有限公司様は、当社にとって重要なお客様の一社です。今回の表彰を励みに、今後も品質を重視した製品づくりを継続し、信頼いただけるパートナーとして、取り組んでまいります。



生産性改善発表大会

技術部門生産性改善発表大会を開催いたしました。

技術部門による生産性改善発表大会が行われました。発表大会には8チームが参加し、昨年実施した業務の改善活動や成果を発表しました。厳正なる審査の結果、上位3チームが表彰されました。

- 金賞 GP開発部 「システム開発における生産性改善」
- 銀賞 TTC開発部 「設計と品質について」
- 銅賞 生産技術部 「マルチEV充電システムの板金内製取り組み」

技術部門は今後も改善活動を続け、お客様が求める製品の開発を行うことで、満足度向上を目指します。



金賞 GP開発部



銀賞 TTC開発部



銅賞 生産技術部

「電源に困った時」ニプロンにご相談ください

<http://www.nipron.co.jp>

会長の ニプロンを 語る!!

ホルムズ海峡封鎖! 石油危機勃発!! エネルギー危機発生!! 世界中がBEVへの転換を すべき時代が到来か

2026年(令和8年)4月1日入社式の時期を迎え、今年も新卒者(大卒9名、高卒3名)が春の桜の訪れとともに入社しました。

強く、大きく成長することを期待するとともに「永続する活力あるニプロン」を標榜するニプロンとしましては、しっかりと若き人材を育てて行く思いを強く意識しています。

今、世界はトランプ米国大統領率いる米国とイスラエル両軍によるイランの重要施設に対する空爆で、一挙に戦争状態になり、イランは報復措置として、国際社会への圧力を強めるためホルムズ海峡を事実上封鎖し、各国のタンカーの運航に深刻な影響が及んでいます。

結果として原油価格が高騰、1バレル70~80ドルあたりから一挙に100~120ドルへ高騰し、更に戦争が長引けば200ドル位に跳ね上がるとの予想報道もされています。エネルギー危機状態が続けば、今後の世界は一挙にガソリン車からBEVへの移行が進む事が予想され、我が国の政府の動きも、その方向性が明確に成りつつあります。

しかし、BEVの普及には充電インフラの整備が必要ですが、エネルギー問題を考えると各電力会社が供給する商用電力は、化石燃料に依存している現状の為、充電インフラの拡充には繋がらないと考えます。最も良い解決方法は太陽光発電であり、どの国にも平等に降り注ぐタダのエネルギーで、その無尽蔵の太陽光エネルギーを活用しBEVを充電する事でエネルギー問題を解消し充電インフラの拡充に繋がれると考えます。

その様なシステムがあるのかと言うと、既にニプロンでは再エネ100%でEVを複数台(2~6台)同時充電が可能なシステムを商品化し、自社工場で運用しています。地球温暖化対策としてBEVの導入を検討されている企業様も多いかと思いますが、今回のような中東の産油国での戦争は、過去から何度となく繰り返しており、石油の供給問題がある限りは、今後も繰り返し起こる可能性があるため、石油への依存度を下げる国家戦略として太陽光を活用した充電インフラの整備に取り組むべきと強く思う次第です。

ニプロンは電源専門メーカーとして今日の時代の到来を予測し、十数年前から電源技術をベースに太陽光発電市場への参入に取り組んできました。まずは最初に特許を取得した多重ブーストラップ回路技術の特徴を活かした超高効率DC-DC昇圧電源(最大効率99%)「PVマキシマイザー」を開発。太陽光パネルのエネルギーを最大効率で取り出すことが可能です。現在では広く太陽光発電の必需品として認知されるようになってきました。

更には「PV Oasis」として蓄電システムを組み合わせた商品のシリーズ化を進めてきました。標準化することで短納期対応、高品質、コスト低減などで競争力を高める工夫を常に行っています。

グリーンパワー事業に繋がりそうな重要な情報には、常に神経をとがらせて目を通し収集し、感性を高めていくことが重要と考えています。

時において焦りを感じる事もありますが、暫く冷静になり、次を待つ心境を整えると共に、常により正しい方向に向かう心が重要で判断を誤らないことを重視しています。

常に完璧な人間はいないので、ミスジャッジを繰り返さない事が重要!現役である限り、よそ見をしないで真剣にグリーンパワー事業を見つめて正しい選択を心掛ける事に努めようと思います。自戒を込めて…。



■ PVマキシマイザー

令和8年4月 酒井 節雄

人材募集

- グリーン電源関連経験の
営業・技術者

弊社人事部までご連絡下さい。
TEL:06-6430-1101



株式会社 **ニプロン**

<http://www.nipron.co.jp>

- 東部営業部 TEL:044-752-1106 FAX:044-777-8811
〒213-0022 神奈川県川崎市高津区千年622番地1
- 西部営業部 TEL:06-6487-0605 FAX:06-6487-2185
〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町1丁目3番30号
- 名古屋営業所 TEL:052-602-4411 FAX:052-602-4311
〒461-0040 愛知県名古屋市東区矢田1丁目9番29号 栄ビル1階C号
- Web問合せ E-mail: support@nipron.co.jp

